

第2章

Excel 活用 (Office 2019)

第3節

仕事でよく使う関数を使いこなす

■この章で使用するファイル : E_STEP3.xlsx

第2章 Excel 活用

第3節 仕事でよく使う関数を使いこなす

ここでは Excel 関数の中でもビジネスシーンでよく使用される関数を学習します。

IF 関数、VLOOKUP 関数は特に代表的な関数ですので必ず覚えましょう。

■E_STEP3_完成.xlsx のシート[注文書]を開いて確認しましょう。

この章で学習する内容

- ① IF 関数
- ② VLOOKUP 関数(完全一致)
- ③ VLOOKUP 関数(近似一致)
- ④ IF 関数を使用したエラー回避
- ⑤ INT 関数 (消費税の計算)
- ⑥ データの入力規則
- ⑦ COUNTIF 関数
- ⑧ SUMIF 関数
- ⑨ LEFT 関数・RIGHT 関数・MID 関数
- ⑩ DATEDIF 関数

注文書						
						注文No. 07-2201 注文日 2019/10/20
<div> <div> <div>お客様名</div> <div>ご住所</div> <div>TEL</div> <div>FAX</div> <div>E-Mail</div> </div> <div> <div>⑦</div> <div>⑧</div> </div> </div>						
豆:注文数/分量	2	1400g				
粉:注文数/分量	2	800g				
ギフト注文/個数	2	3個				
					請求金額	16,634円
No.	商品番号	商品名	豆・粉	単価	数量(100g)	金額
1	CF02	モカ・マタリ	豆	700	6	4,200
2	CF04	グアテマラ	豆	480	8	3,840
3	CF08	ブルーマウンテン	粉	1,800	3	5,400
4	CF09	クリスタルマウンテン	粉	1,000	3	3,000
5	GB-C	ギフトボックスC (300g用)		400	2	800
6	GB-S	オリジナルギフト箱 小 (300g用)		550	1	550
商品合計						17,790
特別割引						130
割引後価格						15,122
消費税(10%)						1,512
税込合計						16,634
配送料						0
総額						16,634
<small>※配送料は全国一律300円、税込合計が15,000円以上ご購入で配送料無料となります。 ※営業日以内に請求書を送付いたしますので、銀行振込にてお支払いください。</small>						
お届け先が異なる場合はご記入ください。						
<div> <div>お客様名</div> <div>ご住所</div> <div>TEL</div> <div>FAX</div> <div>E-Mail</div> </div>						
<div> <div>印刷部 Win</div> <div>〒160-XXXX 東京都新宿区西新宿X-X-X TEL:03-XXXX-XXXX FAX:03-XXXX-XXXX</div> </div>						

⑨

	A	B
36	安達 翔太	安達
37	石山 総理	石山
38	白井 亜美	白井
39	江藤 桃子	江藤
40	小野 太一	小野
41	柿本 亮	柿本
42	木村 さゆり	木村
43	駒井 幸太	駒井
44	佐藤 優人	佐藤
45	志田 美代	志田
46	島本 知子	島本



	B
36	=LEFT(A36,2)
37	=LEFT(A37,2)
38	=LEFT(A38,2)
39	=LEFT(A39,2)
40	=LEFT(A40,2)
41	=LEFT(A41,2)
42	=LEFT(A42,2)
43	=LEFT(A43,2)
44	=LEFT(A44,2)
45	=LEFT(A45,2)
46	=LEFT(A46,2)

⑩

納品日	保存期間
2019/12/15	1年1ヶ月
2020/2/10	0年11ヶ月
2019/11/14	1年2ヶ月
2020/1/12	1年0ヶ月
2020/2/10	0年11ヶ月
2019/10/21	1年2ヶ月
2019/11/14	1年2ヶ月
2019/12/15	1年1ヶ月
2019/11/28	1年1ヶ月
2020/1/24	0年11ヶ月
2020/2/10	0年11ヶ月
2019/11/2	1年2ヶ月
2019/12/15	1年1ヶ月
2020/3/12	0年10ヶ月



納品日	保存期間
43814	=DATEDIF(F2,TODAY(),"Y")&"&"
43871	=DATEDIF(F3,TODAY(),"Y")&"&"
43783	=DATEDIF(F4,TODAY(),"Y")&"&"
43842	=DATEDIF(F5,TODAY(),"Y")&"&"
43871	=DATEDIF(F6,TODAY(),"Y")&"&"
43759	=DATEDIF(F7,TODAY(),"Y")&"&"
43783	=DATEDIF(F8,TODAY(),"Y")&"&"
43814	=DATEDIF(F9,TODAY(),"Y")&"&"
43797	=DATEDIF(F10,TODAY(),"Y")&"&"
43854	=DATEDIF(F11,TODAY(),"Y")&"&"
43871	=DATEDIF(F12,TODAY(),"Y")&"&"
43771	=DATEDIF(F13,TODAY(),"Y")&"&"
43814	=DATEDIF(F14,TODAY(),"Y")&"&"
43902	=DATEDIF(F15,TODAY(),"Y")&"&"

(1.) IF 関数

IF 関数はビジネスシーンでもよく使われる関数の一つです。

条件に対して[当てはまる場合]と [当てはまらない場合]の 2 つの結果を表示できます。

操作ポイント

◆IF 関数：条件に合うかどうかを判断してそれぞれの値を返します。

=IF (論理式, 真の場合, 偽の場合)

①

②

③

- ① 論理式：判断に必要な条件を指定します。条件を指定するためには以下の演算子を用います。

演算子	例	条件の内容
=	A1="○"	セル A1 の内容が○と等しい
>	A1>10	セル A1 の内容が 10 より大きい (10 を含まない)
>=	A1>=10	セル A1 の内容が 10 以上 (10 を含む)
<	A1<10	セル A1 の内容が 10 より小さい (10 を含まない)
<=	A1<=10	セル A1 の内容が 10 以下 (10 を含む)
<>	A1<>10	セル A1 の内容が 10 と等しくない (10 以外)


※引数に文字列をつかうときは必ず半角で[" " (ダブルクォーテーション)] で囲います。


※論理式は基本的に 1 つです。

- ② 真の場合：論理式の条件を満たしている場合に表示する内容を指定します。
- ③ 偽の場合：論理式の条件を満たさなかった場合に表示する内容を指定します。

操作してみましょう！

■IF関数を使用して配送料のセルに税込合計が15,000以上のときは「0」、15,000未満のときは「800」と表示させましょう。

- ① セル[H36]を選択して数式バーの左にある  をクリックし、
[関数の挿入]ダイアログボックスを起動します。
- ② [関数の挿入]ダイアログボックス内の[関数名]から[IF]を選択して[OK]ボタンをクリックします。 ※1
- ③ [関数の引数]ダイアログボックス内の[論理式]のテキストボックスに[H35>=15000]と入力します。
- ④ [真の場合]のテキストボックスに[0]と入力して
[偽の場合]のテキストボックスに[800]と入力し、[OK]ボタンをクリックします。

※1 最近使った関数にIFがない場合は[関数の分類]の  をクリックして
[すべて表示]を選択します。アルファベット順に関数の名前が一覧表示されます。

解答

税 込 合 計	0
配 送 料	=IF(H35>=15000,0,800)
総 額	IF(論理式, [真の場合], [偽の場合])

商 品 合 計	0
特 別 割 引	
割 引 後 価 格	0
消 費 税 (10%)	0
税 込 合 計	0
配 送 料	800
総 額	800

ワンポイント

◆関数のネスト

- 関数の () 中で更に関数を使うこと(入れ子にすること)を[関数のネスト]と呼びます。
例：IF 関数は 1 つの条件に対して条件に合った場合と合わなかった場合の 2 つの結果を用意します。[100 以上ならば A、50 以上ならば B、それ未満は C]など、
3 つの条件を指定する場合に、IF 関数の[偽]の場合の引数にさらに IF 関数を挿入します。

```
=IF ( A1>=100 , "A" , IF ( A1>=50 , "B" , "C" ) )
```

◆論理式の条件範囲を絞り込む、または広げる場合

- AND 関数：複数の条件をすべて満たすかどうかを判断します。
複数の条件をすべて満たす場合に[TRUE]、満たさない場合は[FALSE]が表示されます。

```
=AND ( B4>= 80 , C4>=80 , D4>=80 )
```

論理式 1 論理式 2 論理式 3 ...

- OR 関数：複数条件のいずれかを満たすかどうかを判断します。
複数の条件をどれか一つでも満たす場合に[TRUE]、満たさない場合は[FALSE]が表示されます。

```
=OR ( B4>= 80 , C4>=80 , D4>=80 )
```

論理式 1 論理式 2 論理式 3 ...

いずれの論理式も各セルが 80 以上であることを条件としていますが、
AND はすべて 80 以上、OR はどれか 1 つが 80 以上で結果が異なります。

受験者	数学	国語	英語	AND判定	OR判定
安達 翔太	91	82	87	TRUE	TRUE
石山 絵理	83	79	71	FALSE	TRUE
白井 亜美	85	80	90	TRUE	TRUE
江藤 桃子	60	67	72	FALSE	FALSE
小野 太一	78	72	81	FALSE	TRUE
柿本 亮	64	89	84	FALSE	TRUE
木村 さゆり	83	82	80	TRUE	TRUE
駒井 幸太	75	84	70	FALSE	TRUE
佐藤 優人	48	45	50	FALSE	FALSE
志田 美代	50	55	45	FALSE	FALSE
島本 知子	64	65	70	FALSE	FALSE

- 結果に[○ ×]や[合 否]を表示したい場合は、IF 関数を組み合わせます。

```
=IF (AND ( B4>= 80 , C4>=80 , D4>=80 ) , "合" , "否" )
```

※最後のダブルクォーテーション内に何も入れなければ空白になります。

※時間に余裕がある方は E_STEP3.xlsx のシート[練習]で AND・OR を試してみましょう。

(2.) VLOOKUP 関数 (完全一致)

請求書や見積書を作成する場合、取引先データや商品データがそれぞれ別の表で管理されていることが多くあります。VLOOKUP 関数を使用すると参照元のデータから必要な情報を抽出することができ、効率よく作業が行えます。

操作ポイント

◆VLOOKUP 関数：参照元データの表を参照して表示する。

※VLOOKUP 関数は、関数を入力する表とは別に、参照用の表が必要です。

=VLOOKUP (検索値, 範囲, 列番号, 検索方法)

- ・ 検索値を範囲で指定した表の 1 列目(左端)から検索して、一致した項目の 2 列目以降を表示します。

① 検 索 値：セルを指定しますが、セルが空白の場合は、VLOOKUP 関数を入力したセルは [#N/A]エラーになります。

※[#N/A]エラーは参照する対象がない場合に表示されるエラーです。

商品番号	商品名
	#N/A
	#N/A
	#N/A
	#N/A
	#N/A

VLOOKUP 関数が入力されていますが、商品番号(検索値)に入力がないためエラー表示されます。

②範囲：VLOOKUP 関数が参照するデータを選択します。

※オートフィルでコピーすることが前提であれば範囲は絶対参照にします。

商品番号	商品名		商品番号	商品名	価格(100g)
CF01	メキシコ		CF01	メキシコ	480
	#N/A		CF02	モカ・マタリ	700
	#N/A		CF03	コスタリカ	450
	#N/A		CF04	グアテマラ	480
	#N/A		CF05	ケニア	600
	#N/A				
	#N/A				

VLOOKUP 関数を入力する表とは別の表を範囲として指定する。検索値と別の表の 1 列目が一致しているかを検索します。

③列 番 号：範囲で指定した表の 2 列目以降で、表示したいデータの列数を指定します。

※1 列目に対応した行の 2 列目以降を表示させます。

④検索方法：検索方法には[完全一致]と[近似一致]の 2 種類があり

[FALSE]または[TRUE]で指定します。※1

完全一致	FALSE (0)	検索値と完全に一致する値を返します。
近似一致	TRUE (1)	検索値未満の最も大きい値を返します。

※1 FALSE は「0」、TRUE は「1」でも指定できます。